

宝くじ文化公演



# ウィーン少年合唱団 コンサート



出演 ウィーン少年合唱団：ハイドン組      カベルマイスター：ジミー・チャン

プログラムA  
プレミア

J.P. オードウェイ：ふるさとと母を夢見て	F. シューベルト：矛盾
S. イラディエル：ラ・パロマ	ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・シュネル〈永遠に〉
ニュージーランド民謡：ウェラーマン	J. シュトラウスII：ワルツ〈ウィーンの森の物語〉
滝廉太郎：荒城の月	ほか
G. ロッシーニ：3つの聖歌より〈愛〉	※曲目・曲順は変更になる可能性がございます。

Wiener Sängerknaben  
Seit 1498

写真：©www.lukasbeck.com

2023 6/6 火 開場18:30 開演19:00 黒部市国際文化センター コラーレ(カーターホール)

全席指定 一般3,000円(当日3,500円)  
高校生以下 1,500円(当日2,000円)

宝くじの助成により、特別料金になっています。

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。  
※前売で完売の場合、当日券の販売はありません。  
※新型コロナウイルス感染状況等によりやむを得ず公演を中止する場合があります。

■主催：黒部市／(公財)黒部市国際文化センター／黒部市教育委員会／(一財)自治総合センター  
■後援：北日本放送／北日本新聞社／黒部市教育委員会

●お問合せ

黒部市国際文化センター コラーレ 〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地 <http://www.colare.jp/>  
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207 info@colare.jp

プレイガイド

- コラーレ
- 黒部メルシー
- アーツナビ(富山県民会館／富山県教育文化会館／高岡文化ホール／新川文化ホール)
- チケットぴあ(Pコード:234-963)

発売開始  
4/2(日)



ホームページ  
公式サイト



LINE  
公式アカウント



# ウィーンの象徴、音楽大使として、世界中の人々の心を癒す天使たち

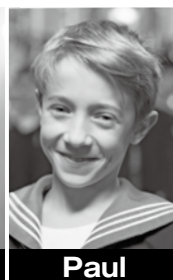
ウィーン少年合唱団の創立は1498年。巨匠・トスカニーニが彼らのコーラスを評して「天使の歌声」と命名したことで有名。世界の数ある少年(少女)合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇る。10歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿で生活し、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーとウィーン少年合唱団にゆかりある作曲家の名がついた4つのグループに分かれ、ヨーロッパ各国、アメリカ、アジア、オセアニアなど、世界中のコンサートに出演。ウィーン国立歌劇場でのオペラ出演や、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート出演など、ウィーンを代表する団体のひとつとして活躍している。

ウィーン少年合唱団の初来日は1955年。2015年には、来日60周年を記念した日本ツアーを行った。王宮礼拝堂のミサで歌う宗教曲などのレパートリーのほか、日本国内で人気の楽曲を歌い、その清らかな声は多くの感動を呼び覚ましていく。近年では「Let It Go(映画「アナと雪の女王」劇中挿入歌)」「手紙～拝啓十五の君へ(アンジェラ・アキ)」「ウィ・アー・ザ・ワールド」「世界に一つだけの花(SMAP)」などを披露。全国各地で人気を博し、完売公演が相次いでいる。また、来日時には多くのメディアで取り上げられるほか、日本のテレビ・コマーシャルに起用されるなど、知名度の高さは群を抜く。東日本大震災発生直後には、ウィーンにて史上初の全4グループ合同演奏によるチャリティ公演を行い、また2016年4月に発生した熊本地震直後には交流のある合唱団へ支援のメッセージを送るなど、被災地支援を行った。2012年の日本ツアーからは、復興支援ソング「花は咲く」を全国各地で歌い日本中を感動に包んでいる。

2023年はハイドン組が来日。



写真：©www.lukasbeck.com



## 宝くじの収益金は

学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、  
公園、社会福祉施設等の建設改修など、  
皆様の日常生活に役立つように使われています。

このイベントは、宝くじ社会貢献広報事業の一環として実施しています。 一般財団法人 自治総合センター